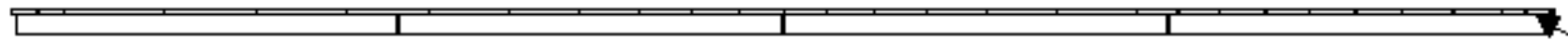


※サウンドフロアと壁との隙間は5mm位空きます。

背面図



注 1

- 注1：サウンドフロアにある矢印が背面側で上を向くようにセットして下さい。
- 注2、3：サウンドフロアと根太材の重ね合わせは根太材が内側に入るようにセットして下さい。
- 注4：両サイドのサウンドフロアは根太材中心部に皿ネジで頭が出ないように止めます。
- 注5：仮組みが終わった時点で床材の接合部に当た場所の床にテープでマーキングを貼り付けます。
- ☆この図面はサウンドフロアを製作する為の注意点と完成予想をイメージした図面です。
設置される場所で板や根太材の数が変わります。必ずしもこの図面と同じにはなりませんのでご注意ください。

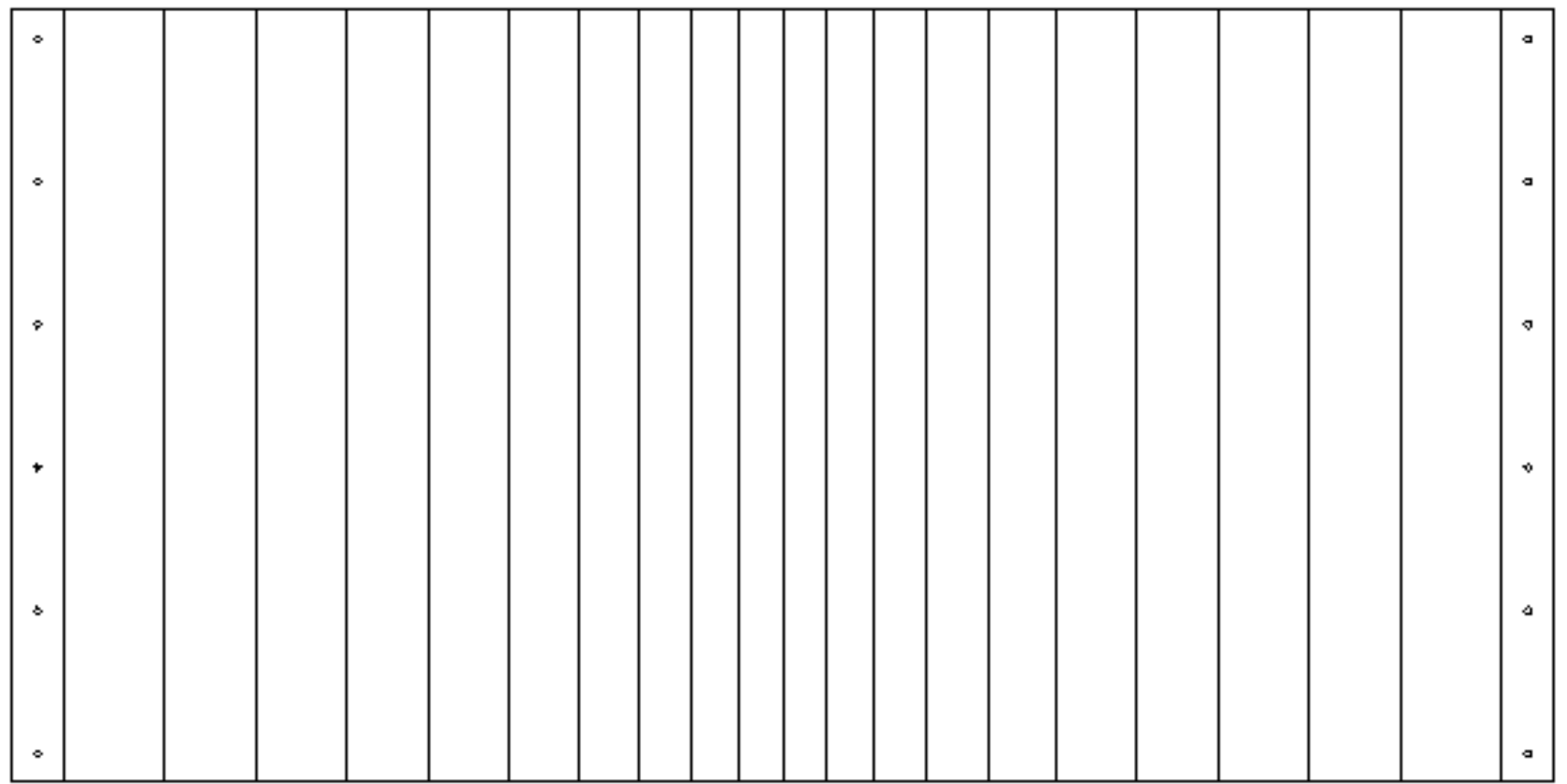
※根太材が5mm位内側に入ります。

注 2

左側面図



右側面図



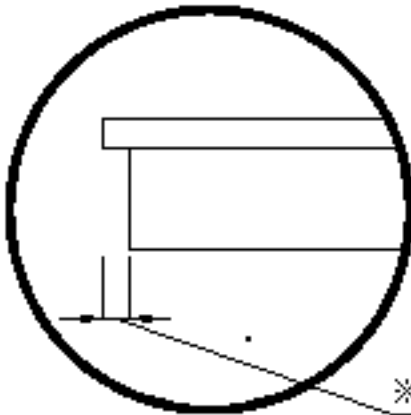
注 3

注 5

音楽の流れの方向

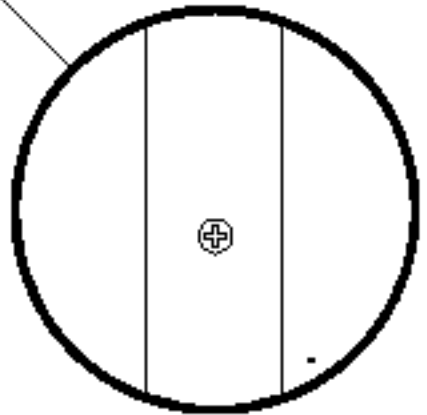
Rosenkranz
サウンドフロア
完成予想図 (図面2)

注 4



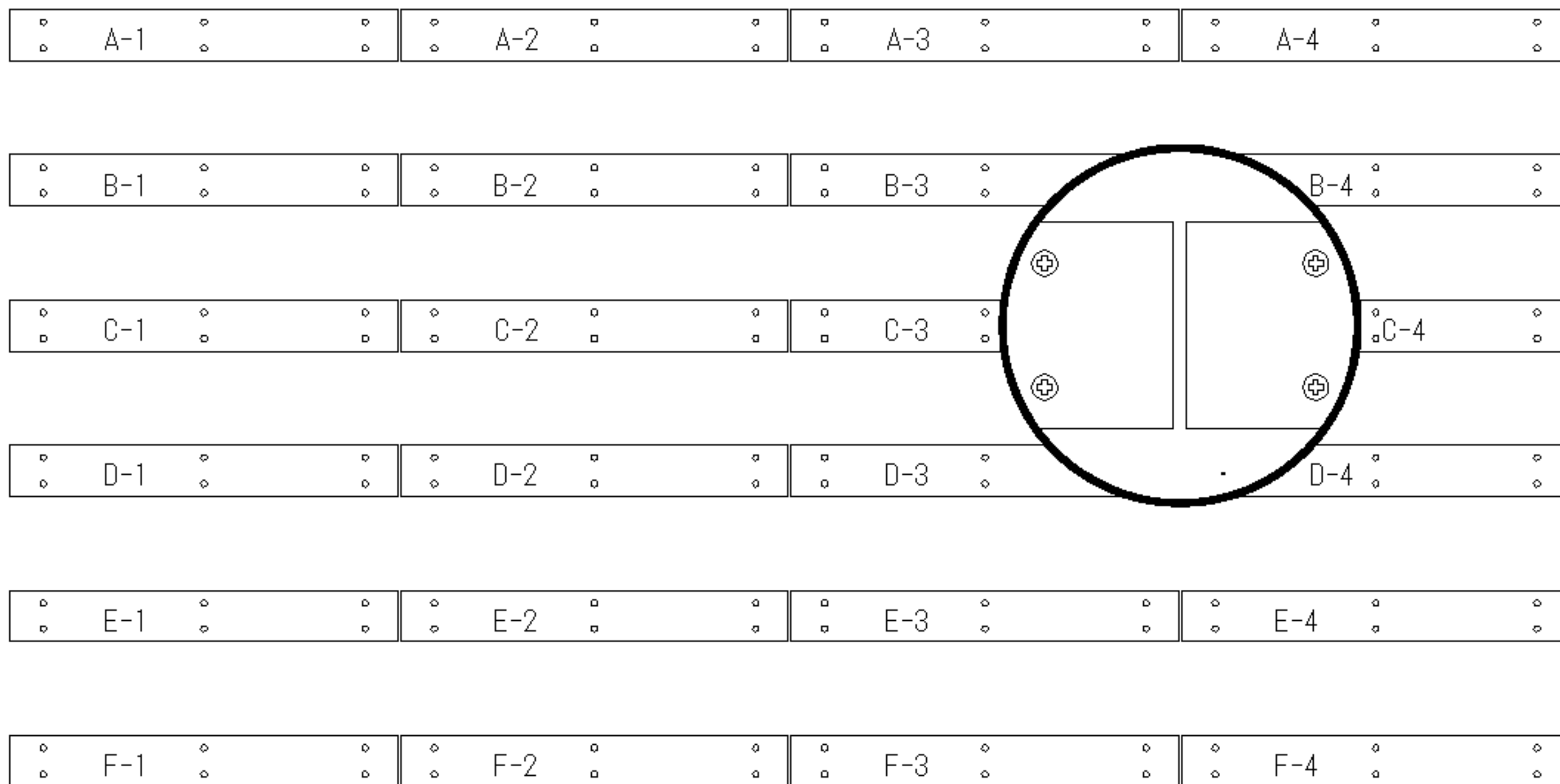
※根太材が5mm位内側に入ります。

正面図



☆ 温度や湿度による変化で木材の反りを回避するために、必ず根太材と根太材の間は隙間を空けてください。

☆ 根太材に書いてある番号はリスナー側から見て、まともに見えるように並べて下さい。



音楽の流れの方向



Rosenkranz
サウンドフロアー
根太材配置図 (図面 1)